

令和5年度 第1回武蔵野市産業振興審議会 要録

【審議会概要】

日 時	令和5年4月20日（木）14：00～16：00
場 所	武蔵野市役所 812会議室
出席 委 員	福田敦会長、小田宏信副会長、高橋勇委員、坂井健司委員、田中栄子委員、田川良太委員
事 務 局	吉崎産業振興事務局、尾崎経済対策調整担当事務局、庄司係長、藤木主任、須藤主任
審 議 会 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>ア 審議会等の開催状況及び関連事務・事業の実施報告について（令和4年度）</p> <p>イ 今後の策定スケジュール（令和5年度）</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>ア 第三期武蔵野市産業振興計画 骨子（案）及び基本方針設定の考え方</p> <p>イ 市民等ワークショップについて</p> <p>(3) その他</p> <p>3 閉会</p>
配 布 資 料	<p>次第</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 審議会等の開催状況及び関連事務・事業の実施報告について（令和4年度） ・資料2 第三期武蔵野市産業振興計画に係る基礎調査報告書概要版 ・資料3 第二期産業振興計画の進行管理表 ・資料4 第三期武蔵野市産業振興計画 骨子（案）及び基本方針設定の考え方 ・資料5 今後の策定スケジュール（令和5年度） ・資料6 市民等ワークショップの開催について（報告書） ・第三期武蔵野市産業振興計画に係る基礎調査報告書 ・令和3年度緊急経済対策効果検証等結果報告書 ・商店会活性出店支援金事業報告書

【議事】

1 開会

- ・配付資料の確認

2 議題

(1) 報告事項

ア 資料1について事務局より説明

イ 資料2及び資料3について事務局より説明

委 員	P. 4の用途地域の中に、農地の記載が全くないが、市内の農地はデータに入っていないのか。
事 務 局	市内の中で農地の割合は2%程度。農地としては入っていない。
委 員	住居系の用途地域の中に入っているということか。
事 務 局	そうである。
委 員	P. 3の産業構造の中で、コンテンツ産業などの項目に分類されているのか教えて欲しい。
事 務 局	グラフの一番下のサービス業（他に分類されないもの）に入っている。
会 長	おそらく細分化されてしまっているのだと思う。このレベルの分類だと分かりにくいかもしれない。
委 員	市民調査や近隣調査の中で、10・20代の回答が非常に少ない印象である。 計画の中でも若者による活性化の促進など、若者の意見は重要視したいはずだが、回答が少ないとはどう考えているか。

事務局	産業振興課だけでなく、市政全般において 10 代 20 代の回答は少ない傾向がある。このアンケートも、インターネットアンケートのため、比較的若者が回答しやすい方法であるが、それでも回答が伸びないというのは関心の低さの表れだと感じている。
会長	一般的にこのような調査ものでは若者の回答は少ないということか。
事務局	そうである。
会長	これを補足する何かを考えないといけない。
委員	若者の意見が取り入れられる調査も検討してほしい。 また、武蔵野市へ来た方がどのくらい滞在して、何をしてどう帰ったのかも知りたい。それを知ることが武蔵野市の活性化につながるのではないかと思う。
委員	データを見ても何もならない。これを元にどう導いていくのかが大事。
委員	若年層の回答がないことは、市の他の調査でも同様であるが、市としても色々工夫はしている。例えば第六期長期計画・調整計画の中では中高生向けのワークショップを行って意見を求めている。 産業振興という内容だと難しいかもしれないが、今後検討の余地はあると思っている。
会長	スマホを使って来街者の動向を把握することは技術的には可能であると思う。今回のテーマとしては直接題材とはなりえないかと思うが、そのような方法も考えると良い。

(2) 審議事項

ア 第三期武蔵野市産業振興計画骨子（案）及び基本方針設定の考え方

資料4について事務局より説明

副会長	クリエイティブ産業を活かしたまちづくりは非常に魅力的であり、是非推進して欲しい。アニメ・漫画・ゲームの業種も多いと思うが、クラフト系（ものづくり）販売のクリエイターの方多くいるのではないかと思う。その要素も入れて欲しい。 環境配慮への普及・啓発については、最近でいうと SDGs、エシカル消費と言われるが、フェアトレードタウンの動きがあり、倫理的に正しい消費ニーズの受け皿になる店舗が増えると、訴求力もあり良い。 さらに、アンケート見ると、製造業の方の回答が多い。しかし、市・地域と製造業の方が結びついている例はなかなかないのかもしれない。もう少しオープンファクトリーがあると教育には良い。また、機会があれば、産業観光的な面ももう少し出せるとよい。
会長	今委員がいっていたクラフト系のクリエイターだったり、フェアトレードに興味を持つ学生も多い。それによって事業者が刺激を受けたりという循環が生まれればよいかなと思う。
委員	市内には商業者がたくさんいるが、時代の流れについていくことができず、廃業される方が多い。また、市内には魅力のあるコンテンツが多いのに、知られていない、発揮されていない、魅力が埋もれてしまっていると感じている。 この方針に記載してあることは素晴らしいのだが、実態として商店会が疲弊しているし、吉祥寺といえども夜の7時8時でも人が全然いない状況である。武蔵境はさらに顕著である。空きテナントがどんどん増えてしまっている。もう一度、経営者の意識改革を行う必要があり、市としてもそうしたことをして欲しい。 また、私はもっと地産地消などの農業についての取り組みを活かしてフォーカスしてほしいと思っている。
会長	第三者から見れば吉祥寺は繁華街としてうつっているかもしれないが、チェーン店が増えてしまっている。資源が埋もれてしまっているというのをどう掘り起こして武蔵野市らしさとして見出せるかが大事。
委員	デジタル社会であるので、どのようにそれをマッチングさせるかも考えていきたい。それを地域の中で循環させていけるとよい。
委員	私が関わる商店会は個性が豊かであると思っている。武蔵野市としても、吉祥寺としても、その魅力をどう発信して消費者に伝えていくか、その方法がうまくいっていない。吉祥寺としても一番の課題であり、解決できていない。発信の仕方について、どのような知見を入れてやっていくのがいいのか、計画の柱としても一番最初に記載しているので、その方法を具体的な形で示していくとよいと思う。

	<p>私は商連の代表という立場できているので、商店会という目線でいうと、市民調査の中で商店会の振興について関心が高くなっているのは、身が引きしまる思いである。商店会の活性化というと、言葉にすると非常に簡単であるが、商店会を動かしていく担い手が不足している。吉祥寺はセントラルエリアの振興組合化しているような商店会から小さいながらも地域の生活を支えている路線商店会まで多くある。しかし、その路線商店会が減ってきてている。商店会は、武蔵野市は町会がないので、その役割を商店会で担ってきているところがある。駅周辺の商店会はもちろんだが、駅から離れている小さな商店会をどう支援し、よりよいコミュニティとしていくかという視点も入れられるとよい。</p> <p>また学生との連携という時に、ただ学生の感性を利用するだけではなく、学生の創業意欲を喚起することで、方針④の起業・創業までつながるとよい。市内で学んだ学生が市内で創業するというサイクルができればよい。</p> <p>事業者マッチングの推進について、これは非常に実感していることである。市の出店支援金のおかげで小売業だけでなく、クリエイティブ系の会社も多く商店会に入ってくれるようになった。商店会員同士の交流会をよく行っているのだが、その小売業の方がデジタル系の会社の人に質問をしている姿を目にする。つまり、マッチングが出来ているということである。まさに体感している部分である。ここを深堀していくことで新しい産業の柱を作り出せばよいかなと思う。</p> <p>リアルでも、デジタルでも、マッチングのプラットフォームを作る必要がある。資料2でも広告・宣伝を手助けして欲しいという話があったかと思う。そこを得意とする業者も多くある。</p> <p>横浜でもコラボックス事業というものを行っている。そのようなノウハウを多くもつ業者はだいたい大手が多いが、それをマッチングする場を横浜市で設けている。しかし、これは事業として予算はついていない。あくまでも情報と場を提供するだけである。しかし、難しい面もあり、小さな商店会が大手のノウハウを利用しようとしてもうまくいかないことも多く、また、提供する側もどのようなニーズがあるか分からぬといふことがある。ただ、それでも困りごとを地元で解決できるというのは大きい。それが根付いてくると良い。</p> <p>また、学生は発信力が非常にあるので、これをピンポイントで発信して欲しいと伝えるとうまくやってくれる。</p> <p>マッチングや、デジタル化というキーワードは大事にして欲しい。</p> <p>情報発信はどうしたらよいのか。市のホームページは硬いし、階層も深いし、どこに何があるか分からぬ。もっと分かりやすく市の商品がそのまま買えたり、登録している人にニュースリリースなどの情報発信ができるといふのが良い。</p> <p>市の魅力がまだ伝わっていないことを誰がどう主体となって伝えていくか。まちばに近い形での組織があつたらいいのではないかと感じた。市内に 10 社近くあるアニメーション会社があることも市のホームページで知り、自分たちでコミュニケーションを取り、マッチング等を通して色々なことができるのではないかと思った。この街の中で自給自足できるような、その手助けを市でしてもらえるとありがたい。</p> <p>例えば吉祥寺に来れば吉祥寺 WiFi があり、どこでも作業できるような場所になればよい。親子でゆったり過ごしながら、携帯の充電ができる場所があればよい。もう少し解放された場所が欲しい。</p> <p>また、空き家の活用は、個人レベルでは限界がある。異業種を結びつけることで解決できるのではないか。</p> <p>また、市内には大学がたくさんある。大学生は大学に来ただけで、商店会には寄らずに帰ってしまうのはもったいない。</p> <p>学生が昔と比べて、消費の仕方が変わってしまった。チェーン店にしか行かなくなってしまった。ただ、学生にもまちの中で学びたいというニーズはある。地域と何かやりたい、でもどうすればよいのか分からぬといふ点はある。</p> <p>学生が消費するのには吉祥寺は価格が高い。消費はしなくてもいいので、学生が体験できる場であればよいと私は思っている。</p> <p>今の学生は意欲・意識は非常に高いと思う。うまく活用できれば活力につながって良い。</p> <p>今の学生は社会の中に接点を置く、身を置くという部分が苦手なイメージがある。であれば吉祥寺、まちとして受け皿を準備することも必要では。</p>
会長	
委員	
副会長	
委員	
会長	

委 員	市としては産業の姿、商工業・農について今まで見えていなかった。今何が起きているのか、押さえていくべきことは何なのかということを把握していくことが必要だと思う。また、その経過を見続けていくことも仕組みとして大切である。 まちづくりのハード整備の部分もどこかに位置付ける必要がある。前計画は3駅圏についての記載もあった。 まちの魅力の捉え方は2つあると思っている。不動の魅力（例えば井の頭公園など）と、動きのある魅力（イベントや人の営み）の両方がバランスよく整っていることが必要である。魅力的な人がいるまちは魅力的になると思う。そのような人が居続けることが計画の中で求められているのかなと思う。
会 長	クリエイティブな人が集まるワークショップなどができるコミュニティカフェなどが市内に1・2か所あり、そこでクリエイティブな部分も支援できるとよい。
会 長	他に意見が出なければ、この骨子案を基に、専門部会にて計画の策定に向けて議論を深めていくという方向性について、異議がないかを確認させてもらいたい。今日の内容は議事録で専門部会に共有し、専門部会で議論していくということで異議はないか。
委員一同	異議なし

第3期武藏野市産業振興計画骨子（案）及び基本方針設定の考え方について、承認した。

イ 市民等ワークショップの開催について

資料5及び資料6について事務局より説明

委 員	商店会の推薦については難しいのではないかと思う。事業者ヒアリングのアンケートに協力していただいた方はどうか。
事 務 局	検討する。
委 員	ワークショップは市民の枠はないのか。
委 員	市報でも募集するため、参加は可能である。また、傍聴も可能。
副 会 長	8月のワークショップはまた6月とは別の内容をするのか。
事 務 局	その予定であり、専門部会委員にも諮って内容を決めたい。審議会の委員の皆さんからも何かあればお願ひしたい。 また、3回目のワークショップは昨年は11月の上旬と伝えていたが、11月28日に変更している。

市民等のワークショップ実施及び内容について、承認した。

(3) その他

会 長	本日の議事は以上である。何かご意見ご質問はあるか。 特になれば、(3)その他について、委員のみなさんや事務局からお願ひしたい。
委 員	先ほど会長が言っていた、横浜の魅力的な施策を行っている詳細を知りたい
会 長	民民同士でまちづくりを実現している。行政が全てを実施するのではなく、民間の力をマッチングさせて、できることを実施するということを市が積極的に行っている。ただし、予算をつけていないので、何かをやるということになった場合の予算は懸念点である。まずは実験的にマッチングさせるということを実施している。
委 員	今の武藏野市の問題は、高齢化で地元の人たちが商店を畳んでいることである。市は出店支援金ということでサポートしているが、開業資金という部分だけでなく、今あるお店の継続費用もサポートしてあげてほしい。
会 長	一番残念なのは、顧客もおり、いいメニューもあり、黒字なのに事業を畳んでしまうことである。
委 員	そこを何かサポートしていくとよいと思う。
事 務 局	次回の令和5年度第2回審議会については、令和5年10月19日（木）の午後2時から開催する予定である。 本日ご承認いただいた骨子案について、5月、7月、9月に開催する専門部会にて議論を深め、計画素案としてお示しできればと思っている。

3. 閉会